



「福祉用具の日」推進事業は、高齢社会における福祉用具普及の社会的意義が高いことから、可能な限り関係機関・団体等に協力を求め、「福祉用具の日」の普及に努めていきます。

10月1日は 「福祉用具の日」

ふくしようにく

生活と心を支える福祉用具。
やさしさと大切さをもっと伝えたい。



「福祉用具の日」推進協議会

- 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ●財団法人テクノエイド協会
- 社団法人日本福祉用具供給協会 ●日本福祉用具・生活支援用具協会

【後援】●厚生労働省 ●経済産業省

「福祉用具の日」、知っていますか

福祉用具は、身体機能の低下した高齢者や、障害者の日常生活や社会参加にとって大切なものです。

しかし、残念ながら一般の方にはなじみが薄く、見慣れないこともあって、福祉用具を何か特別なものと感じる人が多いのではないのでしょうか。そのため介護が必要な状態になっても、その存在さえ知らないか、たとえ知っている、周りの目を気にして使うことをためらったり、引け目を感じる人が多いといえるでしょう。これらのことが自立を支える福祉用具の正しい使用や、普及を妨げる「壁」となっています。

私たちは、視力の低下した人が自然に眼鏡をかけるように、必要な状況に応じ、誰でも何のためらいもなく福祉用具を使えるようになればと考えています。このような社会環境を築くためには、多くの方に福祉用具の存在やその価値を知ってもらい、日常生活用具のように身近に感じてもらうことが大切です。

そこで私たちは、広く国民に福祉用具を知っていただく機会として、平成14年度から10月1日を「福祉用具の日」とし、“誰にもやさしい福祉用具、もっと身近に感じてほしい”というキャッチフレーズのもと、広く関係者と協力して全国一斉に福祉用具の普及活動を行います。

私たちはこの取り組みを通じて、社会にあるこの「壁」を少しでも取り払いたいと思います。

平成5年10月1日に「福祉用具法」が施行されたことにちなんで10月1日を「福祉用具の日」としました。同法の立法精神を重んじ、高齢者や障害者の自立の促進と、介護者の負担軽減という視点を重視して、「福祉用具の日」推進事業に取り組みます。

「福祉用具の日」推進協議会を構成している団体は、下記の通りです。

【独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構】(NEDO)

日本の産業技術とエネルギー・環境技術の研究開発とその普及を推進する中核的実施機関です。我が国最大規模で、広汎な研究開発を推進しています。

●〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミュージアムザ川崎セントラルタワー16～20階(総合受付16階)
●TEL.044-520-5100

【財団法人テクノエイド協会】

福祉用具の研究開発等の推進、福祉用具の試験評価、情報の収集及び提供並びに義肢装具士の養成等を通じ、障害者及び高齢者の福祉増進に寄与することを目的としています。

●〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階 ●TEL.03-3266-6880

【社団法人日本福祉用具供給協会】

福祉用具を供給する民間事業者が、利用者を尊重した総合的供給体制の強化を図り、供給する各種サービスの質的向上に努めるとともに、福祉用具の普及促進、利用者情報の研究開発への反映など、事業を通じて総合的な介護システムの増進に資することを目的としています。

●〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-6-13 寺本ビル3階 ●TEL.03-3234-8281

【日本福祉用具・生活支援用具協会】(JASPA)

優れた福祉用具・生活支援用具および関連する事業の高度化を通して国民の健康・福祉や生活の質の向上を図るとともに、これに基づき社会や制度に対し情報開示や提言を進めていく等今まで以上に広く社会に貢献しています。

●〒105-0002 東京都港区愛宕1-2-2 虎ノ門9森ビル9階 ●TEL.03-3437-2623

「福祉用具の日」推進協議会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-6-13 寺本ビル3階(社団法人日本福祉用具供給協会内)

TEL.03-3234-8281 FAX.03-3288-3077 <http://www.fukushiyougu.or.jp>